

患者さんおよびご家族の方への臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター血液科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

同種移植後に発症するフサリウム症の臨床的特徴と予後予測因子

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター血液科 学内准教授 木村俊一
昭和大学 医学部 内科学講座 血液内科学部門 教授 服部 憲路

【研究の対象となる方】

2006年1月から2021年12月の間に、同種または同系ドナーより造血細胞移植を実施され、全国調査に登録された方のうち、フサリウム症（真菌感染症の一つです）を発症した患者さんです。

【研究の目的・方法】

本研究では同種移植後のフサリウム症の臨床的特徴、予後予測因子について検討します。フサリウム症を発症された患者さんに関するより詳細な情報を二次調査票を用いて収集し、データベースに登録されているデータ（特定の個人を識別することができないよう研究用の符号が付けられている。）とともに研究に用います。

【研究に用いる試料・情報の種類】

日本造血細胞移植データセンターより提供された、個人情報が出られないよう研究用の符号が付けられたデータ（疾患、移植法、移植成績等）、及び二次調査票のデータ（こちらも、個人情報が出られないよう、改めて研究用の符号が割り当てられる）を解析に用います。

【外部への試料・情報の提供】

なし

【研究組織】

一般社団法人 日本造血細胞移植データセンター
センター長 熱田 由子

共同研究事務局

日本造血・免疫細胞療法学会 GVHD 以外の移植合併症 ワーキンググループ
代表者 薬師神 公和

【研究期間】

この研究の期間は、2023年11月27日から2026年3月31日までです。

【本研究の資金源と利益相反について】

本研究は自治医科大学附属さいたま医療センターを主管とする多機関共同研究です。日本造血細胞移植データセンターにおける二次調査のデータ収集/管理にかかる費用は、日本造血・免疫細胞療法学会が支払います。

本研究における研究者の利益相反については、昭和大学利益相反委員会において、適切に管理され、公正な研究を行うことができると判断を受けたくうえで実施しています。また、学会発表や論文公表に際しても、利益相反に関して公表し、透明化を図ることとしています。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847
自治医科大学附属さいたま医療センター
048-647-2111
研究担当者：血液科 木村俊一

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター
総務課 048-648-5225